

平成 19・20 年度 土木学会複合構造委員会 第 10 回幹事会議事録（案）

1. 日 時：平成 20 年 10 月 31 日（金）14：00～17：00
2. 場 所：土木学会会議室
3. 出席者：中島委員長，横田副委員長，渡辺幹事長，池田幹事，大垣幹事，大山幹事，葛西幹事，島幹事，杉浦幹事，武知幹事，西崎幹事，本間幹事，溝江幹事，山口幹事，岡田事務局（欠席者：田中幹事，古市幹事）（敬称略）
4. 配布資料
 - 資料 幹 10-1 第 9 回幹事会議事録（案）
 - 資料 幹 10-2 平成 21 年度事業計画および予算要求調書
 - 資料 幹 10-3-1 平成 20 年度自己評価（中間）評価票
 - 資料 幹 10-3-2 JCSE2005 最終評価一個別目標の達成状況一
 - 資料 幹 10-4 出版会計の課題と改善策（英文図書）
 - 資料 幹 10-5-1 事務局の支援範囲の見直しについて（ご協力のお願い）
 - 資料 幹 10-5-2 事務局の支援範囲の見直し（案）
 - 資料 幹 10-6-1 出版関連報告
 - 資料 幹 10-6-2 出版企画書「FRP を用いた鋼部材の補修・補強の設計・施工（仮称）」
 - 資料 幹 10-7-1 土木学会各賞推薦について
 - 資料 幹 10-7-2 複合構造委員会組織図
 - 資料 幹 10-7-3 複合構造委員会による土木学会各賞等推薦細則
 - 資料 幹 10-7-4 土木学会賞の候補推薦び募集
 - 資料 幹 10-7-5 平成 20 年度土木学会賞候補の募集
 - 資料 幹 10-8-1 土木学会複合構造委員会 次期委員長候補選出方法について
 - 資料 幹 10-8-2 次期委員長候補 選出に係る立候補・推薦についてのご案内
 - 資料 幹 10-8-3 土木学会複合構造委員会 次期委員長立候補・推薦用紙
 - 資料 幹 10-8-4 複合構造委員会委員長候補者選考細則
 - 資料 幹 10-9 ジョイントセミナープログラム
 - 資料 幹 10-11-1 平成 21 年度年次大会（共通セッション）募集
 - 資料 幹 10-11-2 平成 21 年度全国大会共通セッションテーマの募集
 - 資料 幹 10-11-3 平成 21 年度全国大会特別セッションテーマの募集
 - 資料 幹 10-11-4 平成 21 年度部門別セッション名
 - 資料 幹 10-11-5 平成 21 年度全国大会共通セッションテーマ申込み
 - 資料 幹 10-12 「第 3 回 FRP 複合構造・橋梁シンポジウム」の実施について
 - 資料 幹 10-13 複合構造ずれ止めの統一的設計手法の調査研究小委員会 設立趣意書
 - 資料 幹 10-14-1 ジョイントセミナー助成申請の募集
 - 資料 幹 10-14-2 公益信託「土木学会学術交流基金」ジョイントセミナー助成申請書
 - 資料 幹 10-14-3 公益信託「土木学会学術交流基金」ジョイントセミナー助成報告書
 - 資料 幹 10-15 第 8 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウムについて

5. 議事次第

(1) 第 9 回幹事会議事録案の確認（資料 幹 10-1）

池田幹事より第 9 回幹事会議事録案について説明があり，以下を訂正とすることになった。

5.(3)(a)土木学会論文集の改革について

「これは、編集小委員会にて論文集再編の動向に関する具体的な情報を入手できるメリットがあるためである。」という記述に「複合構造の委員がいた方がよいため」を追記する。

(2) 平成 21 年度事業計画及び予算要求調書（資料 幹 10-2）

渡辺幹事長より、平成 21 年度事業計画及び予算要求調書について予算要望額 907 千円として 10/23 に提出した報告があった。

(3) 平成 20 年度中間評価（資料 幹 10-3-1,10-3-2）

渡辺幹事長より学会に提出した JSCE2010 自己評価（中間）と JSCE2005 最終評価について説明があった。

(4) 出版会計の課題と改善案（英文図書）（資料 幹 10-4）

渡辺幹事長より英文図書の取扱いについて、複合構造委員会は以下の回答とした報告があった。

- ・基本的には、「出版会計の課題と改善策（案）」に賛成するが、それが調査研究委員会の予算減額とならないように、出版委員会で英文化する図書の選定などを管理していただきたい。

(5) 事務局支援の見直しについて（資料 幹 10-5-1,10-5-2）

渡辺幹事長より事務局の支援範囲の見直しの協力依頼について説明があり以下が確認された。

- ・複合構造委員会は提示された見直し案に既に適合しているため、従来通りの役割分担とすることが確認された。
- ・委員会会議資料の複写は、電子ファイルの事前配布が原則であるが、コピーカードを使って複写でもよいことが確認された。

(6) 平成 21 年度出版計画（資料 幹 10-6-1,10-6-2）

武知幹事より平成 21 年度出版計画について説明があった。

- ・複合構造レポート 04「FRP を用いた鋼部材の補修・補強の設計・施工（仮称）」の出版企画書を出版委員会に申請した。希望発行部数は、講習会と販売促進活動を考慮した予想販売部数である 250 部としてヒヤリングを受けることが確認された。
- ・複合構造委員会の出版物販売状況について説明があり、複合構造シリーズ 03「複合技術の最先端」の販売部数が高いことが報告された。

(7) 土木学会論文賞推薦について（資料 幹 10-7-1～10-7-5）

中島委員長より土木学会各賞の推薦について説明があった。

- ・スケジュールは 11 月初旬に推薦依頼メールを送付し、11/20 論文賞募集締め切り、12/5 論文賞以外の募集締め切り、1/20 候補推薦の受付締め切りとすることが確認された。
- ・論文賞の推薦依頼に対しては、細則に従って査読を行ない、該当無しとする場合もあることが確認された。

(8) 複合構造委員会次期委員長候補選出方法について（資料 幹 10-8-1～10-8-4）

渡辺幹事長より次期委員長候補の選出方法について説明があった。

- ・候補者の募集は従来通りの方法で募集・選出することが確認された。
- ・選挙日程は、12 月下旬に投票用紙送付と返信による投票とし、1/22 委員会にて開票結果の報告とすることが確認された。
- ・選挙管理小委員会は、渡辺幹事長、大山幹事、西崎幹事の 3 名とすることが確認された。

- ・次期委員長候補者立候補・推薦についての案内が確認された。

(9) 日韓台ジョイントセミナーについて（資料 幹 10-9）

横田副委員長よりジョイントセミナーのプログラムについて以下の説明があった。

- ・ジョイントセミナーは第 11 回 EASEC の特別セッションとして 11/21 の 10:50～12:35 の開催となった。
- ・基調講演は複合構造標準示方書について報告することとなった。
- ・基調講演の他には日本 2 篇、韓国 3 篇、台湾 1 篇の 6 篇の発表となった。
- ・見学会は中止となり、懇親会の開催となった。

(10) FRP 歩道橋設計指針小委員会について

渡辺幹事長より FRP 歩道橋設計指針小委員会の設立案について以下の説明があった。

- ・小委員会は来年度に立ち上げ、活動期間は 1～2 年間とする。
- ・委員長は幹事会で検討し、委員は委員長が選任する。
- ・複合構造標準示方書と整合した設計指針とするために、示方書作成に関わった人を委員に含める。
- ・次々回の幹事会までに小委員会の素案を提示する。

(11) 平成 21 年度全国大会について（資料 幹 10-11-1～10-11-5）

渡辺幹事長より平成 21 年度全国大会の共通セッションと特別セッションのテーマ募集について説明があり、以下の意見が出された。

- ・共通セッションに「複合構造物」で申し込む。申込書の主題には「FRP」「補修補強」「維持管理」などのキーワードを追記する。
- ・部門別セッションの第 I 部門と第 V 部門に複合構造関連を共通セッションに誘導できるような記載を提案する。
- ・講演者が共通セッションの複合構造物に応募することを促すため、前回の複合関連講演者宛にメールにて案内を送付する。

(12) 第 3 回 FRP 複合構造・橋梁シンポジウムについて（資料 幹 10-12）

西崎幹事より FRP シンポジウムの開催について以下の説明があった。

- ・シンポジウムに対して（社）強化プラスチック協会から共催申し込みがあり、応諾した。
- ・会場は土木学会の A,B 会議室とし、控室を準備した。

(13) 複合構造ずれ止めの統一的設計手法の調査研究小委員会の設立について（資料 幹 10-13）

中島委員長よりずれ止め小委員会の設立趣意書について以下の説明があった。

- ・活動期間は実験を考慮すると厳しいが 2 年間とする。
- ・設立工程は、6 月の複合構造委員会で提案し、その後に委員公募とする。
- ・小委員会の活動に対して、中島委員長から鉄鋼連盟の助成に応募したい。

(14) 平成 21 年度ジョイントセミナー助成申請について（資料 幹 10-14-1～10-14-3）

渡辺幹事長より国際委員会からのジョイントセミナー助成申請について説明があり、横田副委員長が申請について検討することとなった。

(15) 第 8 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウムについて（資料 幹 10-15）

中島委員長より複合・合成構造の活用に関するシンポジウムについて以下の説明があった。

- ・建築学会ではシンポジウムの開催場所として建築会館（田町）を予定している。
- ・開催日の問合せに対しては、2009年11月5日～6日の開催希望で回答することとなった。

(16) 土木学会論文集の再編について

葛西幹事より土木学会論文集の再編について説明があり、以下の対応となった。

- ・部門 A の複合構造分野は、複合構造委員会が担当する可能性がある。
- ・1/27 の論文集再編調整委員会に複合構造委員会からオブザーバーとして葛西幹事に参加していただくこととなった。
- ・複合構造委員会幹事会に対する論文集再編の説明会は、希望日を小林編集委員会委員長（京大）に提示することとなった。

(17) その他

- ・中島委員長より複合構造委員会の佐々木委員の後任について説明があり、次回の委員会からではなく平成 21 年 6 月の新体制から就任していただくことが確認された。
- ・新設の小委員会について、大山幹事に 9A 改訂小委員会の設立資料を、大垣幹事に接着小委員会の設立資料を作成していただくこととなった。また、企画 WG でも再検討することとなった。

- ・次回 12 月 12 日～13 日（場所 大阪）

見学会や幹事会場は大山幹事に調整していただく。

以上（記録・文責 武知 勉）